

## 令和5年度（2023年度）第1回柏崎市歯科保健推進会議 議事録

- 1 日 時 令和5年（2023年）11月15日（水）13時30分から15時10分
- 2 場 所 柏崎市健康管理センター3階 集団指導室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 石川委員、植木(美)委員、小黑委員、斎藤委員、西川委員、平田委員、船岡委員、山下委員、8人（五十音順）  
※欠席委員：植木(一)委員、小川委員、下條委員、若月委員
  - (2) 事務局 山崎福祉保健部長  
健康推進課：坪谷課長、金子課長代理、池嶋課長代理、竹内係長、相沢主任  
子育て支援課：田中課長  
保育課：中村課長  
学校教育課：矢沢課長  
福祉課：村田課長  
介護高齢課：尾崎課長  
国保医療課：徳間課長

### 4 会議概要

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付・委員紹介
- (3) 福祉保健部長挨拶
- (4) 会長選任
- (5) 議事
  - ・令和5年度（2023年度）「第1回健康づくり推進会議」及び「第1回歯科保健推進会議」の報告
  - ・柏崎市におけるフッ化物洗口の実施状況と効果を説明
  - ・第2次歯科保健計画の概要と歯科保健事業の取組について説明し、協議を実施

議事の概要は以下のとおり

フッ化物洗口事業実施状況と効果を説明

<資料2>

第2次歯科保健計画の概要と歯科保健事業の取組について

<資料3、資料4、資料5>

○柏崎市におけるフッ化物洗口の実施状況と効果について事務局説明

議長	事務局からの説明のとおり、フッ化物洗口によってむし歯予防効果が出ている。実際に取り組んでいる A 委員いかがか。
A 委員	開始時は行政から保護者に説明会をしてもらった。保護者も多少不安を感じているところがあったが、スムーズに導入できた。その後はパンフレットの配布、ホームページや園だよりで子ども達のフッ化物洗口の様子を掲載したりなど、保護者に取り組んでいる様子をお知らせしている。 職員も子ども達が上手に洗口できるか心配していたが、水洗口から始めて、上手にできている。 定期的にフッ化物歯面塗布をしていた保護者も、とてもいいと言っているし、肯定的な意見をいただく家庭がとても多い。
議長	続いて、B 委員いかがか。
B 委員	小学校でも開始時には保護者に向けて説明会があり、心配の声もあがったが、今では高い実施率となっている。 保育園で洗口をしている子が多く慣れているが、小学生になると洗口液の量が増えるので、初回は水で練習している。学年が上がるにつれ慣れてスムーズに行っている。
議長	その他、フッ化物洗口についていかがか。
C 委員	情報提供と要望を寄せたい。資料で見ると公立保育園、私立保育園の 26 園中 24 園実施していて、2 園は実施していない。幼稚園もフッ化物洗口を実施していない。実施していない園児が 300 人位いることになる。 今回はっきりとフッ化物洗口の効果が出ていることが分かったため、これらのデータを利用し、幼稚園にも説明をし、できるだけ早く開始してはどうかと市と歯科医師会の打合せでも提言させてもらった。 小学校に入ればほとんどの子がフッ化物洗口をする。園の問題なのか保護者の問題なのかかわからないが、4 歳からの 2 年間フッ化物洗口をやっている子とやっていない子がいる。新潟県全体としてむし歯が減ってきている。歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の全部改正の中には、歯・口腔に関する健康格差の縮小とある。兄弟が小学校でフッ化物洗口をしており、本当は園児にもさせたいという家庭もあると思う。本来は全ての園に実施してもらい、その中で、保護者の希望で、実施したくない人は希望しなければいい。実施する機会を設けるためにも、実施していない園へ行政の方からも要望してほしい。なかなか難しいようであれば、歯科医師会へ協力を仰いではどうか。できるだけ早い時期に取り組んでほしい。

保 育 課	先日の会議の場でも同様の要望をいただいた。今回のデータを活用して、未実施園へ協力を依頼したい。なかなか実施に踏み切れない事情があるようなら、歯科医師会にも相談させていただきたい。
議 長	むし歯予防のエビデンスもあることからよろしくお願ひしたい。

○第2次歯科保健計画の概要と歯科保健事業の取組について事務局説明

議 長	事務局から計画の概要、昨年度と今年度の主な取組、昨年度の会議の意見を反映した取組など説明があった。 本日欠席のD委員から預かっている御意見について、事務局お願ひしたい。
事 務 局	D委員は、障がいのある方が地域で暮らしながら自分らしく生活するための支援をしている事業所で、栄養士兼生活支援員をされている。施設での現状を含め御意見をいただいた。

- ・施設内では、昼食後に一か所で職員が見守りながら、歯みがきを実施しているが細かいチェックまではできていない。職員間で歯科保健に関することが周知されておらず、市が行っている歯科健康相談の内容や日程などが共有されていないといった現状がある。
- ・グループホームの利用者の歯科健診は年1回家庭にお願いしている。今後は保護者の高齢化も心配され、施設の職員が歯科健診に同行することが予想される。
- ・健康に気遣う保護者も多くいるので、保護者や利用者に対して職員が歯科についての情報発信ができるように研修を行いたい。

議 長	他の施設では、施設の方が入所者を市の歯周病検診の集団検診に連れてきてくださっているところもある。障がい福祉施設に対して情報提供を行っていきたい。 施設職員に対しては事業所向けのからだスッキリ講座を研修として利用いただけることから、職員の皆さんが御自身の健康づくりを考えていただき、さらに、得た知識を利用者や保護者の健康づくりに活かしていただけるような取組を紹介したい。
議 長	国の歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の改正があり、ますます歯科保健に関する関心が高まっている。定期的な歯科健診についての課題も残る。 委員から御意見をお願ひしたい。

E 委員	<p>初めて委員となったが、いろいろな場面で計画を立て、事業を実施しているのはすごいことだと改めて感心している。</p> <p>資料 6 のスライド 9（出産前のパパママセミナー）とスライド 11（歯周病検診（口腔健診））の妊婦への歯科健診は、同じ対象者という理解でいいか。</p>
事務局	<p>出産前のパパママセミナーは 2 か月に 1 回実施をしており、5～7 か月の妊婦が対象となっている。歯周病検診の無料クーポンは母子手帳交付時に配布しているが、安定期に受診することを勧めている。受診の時期は前後すると思うが、対象としてはほぼ同じである。</p>
E 委員	<p>出産前のパパママセミナーで歯科健診を受けた方が、歯周病検診も受診すると考えると二重になるとは言わないが、少し整理できるといいのではないか。</p> <p>1 歳 6 か月児の歯科健診から 3 歳の歯科健診まで間が空く。自分も孫ができ、むし歯にならないか心配しているが、親が毎日仕上げみがきを頑張っている姿を見ると、歯科医師から健診で診てもらい、大丈夫と声をかけてもらうことはとても安心できる。他市町村では、2 歳児や 2 歳 6 か月児の歯科健診がある。すぐに実施できるとは思わないが、検討してほしい。また、その時に保護者も一緒に歯科健診をしているところもある。子育てで忙しく歯科健診に行くことができない方にとっては、子どもと一緒に歯科健診ができることはありがたい。むし歯が見つければ受診につながる。その点も今後検討してほしい。</p>
事務局	<p>他市町村で 2 歳児や 2 歳 6 か月児の歯科健診をしていたり、その際に保護者の歯科健診を行っているところがいくつかあることは承知している。園を通じて保護者へも歯科健診を勧めるとともに、提案いただいた点について、事務局としても検討していきたい。</p>
F 委員	<p>先ほど C 委員から話があったが、自分の子はフッ化物洗口をしていない園に通っていたので、選択の自由という機会を設けていただけると、保護者として本当にありがたい。フッ化物歯面塗布をするために仕事の休みを取って歯科医院に連れて行くのは大変である。いろいろな考えがあると思うが、選択の自由があるのが一番いいと感じる。</p> <p>高齢者に関わる仕事をしているが、この 10 年を見ていて、サービスを利用する年齢が上がってきたと感じる。10 年前は 80 歳代からのサービス利用者が多かったが、現在は 90 歳代が主流になっている。サービスを利用する中で歯科受診につなげるお手伝いをすることもあるが、80 歳を超えると歯科医院へ行くきっかけも減ってきている。歯周病検診の対象年齢を 80 歳で区切るのではなく、制限をなくし、受診のきっかけを増やしてはどうか。</p>
事務局	<p>国でも全世代の方から歯科健診を受けていただく制度に移行し</p>

ていきたいということで、今年度から補助金が大幅に増額された。それに伴い、市では80歳までの歯周病検診の対象年齢を拡大できないか検討している。

A 委員	園では、食育や歯に関することなど、保護者に対し目に見えるチラシを配布している。保護者が子どもと一緒に見たり、考えたりするいい機会となっている。今回11月8日いい歯の日に合わせて市から配布されたチラシは、年長児は特に関心が高かった。園でも、「これはクイズになっているからおうちの方と一緒にやってみてね、大事なお手紙もついているから読んでもらってね」と声をかけて配布をしたところ、子ども達が喜んで持ち帰った。保護者の反応まで把握をしていないが、声をかけてみたい。今後もこのようなチラシを継続してほしい。
事務局	喜んでいただけてよかった。今後も園や保護者の感想を聞きながら作成をしていきたい。
B 委員	今年度、子ども達に歯科指導をした際に、受診勧奨されていないと歯科医院に行ってはいけないと思っている子が多くいた。歯科健診をするだけでも歯科医院へ行っていいことを伝えたが、異常がないと歯科医院へ行かない家庭も多い。歯科健診もそうだが、かかりつけ歯科医がいることが大事だと思うので、小学校からも発信していきたい。
G 委員	指標に対する進捗状況を見ても、青壮年期が課題と感じた。乳幼児期・学童思春期はいろいろな取組がある。青壮年期、働いている世代に対し取り組みにくいというのは、柏崎市だけではなく、全ての市町村でいえることだと思う。 何点か質問したい。 歯周病検診だが、特定の年齢に無料クーポンを配布しているが、利用率はどのくらいか。
事務局	歯周病検診の無料クーポンは20歳、30歳、40歳、50歳、60歳が対象となっている。無料クーポンが始まったのが令和2年度(2020年度)からのまだ3年で、年度によって差はあるが、20歳については5%から7%前後、30歳40歳は9%から10%、50歳60歳になると10%から15%くらいとなっている。平均をすると毎年10%くらいの利用率である。無料クーポンを配布しても、受診につながらない現状があり、事務局としても低い受診率だと思っている。
G 委員	無料クーポン対象ではない20歳から80歳の受診率はどのくらいか。
事務局	歯周病検診は申込制となっており、20歳から80歳の人口に対する受診率、受診者数は把握をしていない。申込者に対する受診率は年度によってだが、30%から40%となっている、
G 委員	申し込んでいても受けない人がいるということなので、今後はそこを改善することが必要。青壮年期の歯を守ることもつながる。

最近、職員が急に歯が痛くなるということがあった。何件か歯科医院に連絡をしたが、すぐに診てもらえるところなかった。柏崎市の状況は詳しく承知していないが、歯科医院は混んでいるイメージを持った。働いている人が受診しようと思うと平日は難しい、休みの日はすでに予約が埋まっているでは、思い立ってすぐ受診できる状況にはない。そこも一つの課題だと思う。会社の理解を得て、休みをとって受診することも一つの手段であるが、受診しやすい環境を整えることにも工夫できるといい。企業への働きかけを強化すると、結果も期待できるのではないか。

フッ化物洗口について、保育園では2園実施していないということだが、だいたい何人位かわかれば教えて欲しい。

保 育 課	2園合計で140人くらいである。
事 務 局	事務局から補足したい。歯周病検診は歯科医師会の御協力により、一般の歯科診療所だけでなく、健康管理センター1階の歯科休日急患診療所でも受診していただくことができる。急患の方がいる場合には多少お待ちいただくこともあるが、休日でも受診できる。周知が足りていない部分もあるため、御意見のとおり環境づくりを行っていききたい。
C 委 員	柏崎市は行政としてライフステージごとに様々な事業に取り組んでおり、目標値を達成していない項目もあるが、よくやっていると思う。 先ほどF委員からも意見があったが、自分の歯科医院にも最近御高齢で元気な患者さんがたくさん来られるようになった。高齢化が進んでいると思うと同時に、80歳を過ぎても歯科医院に来られる方が増えていると思う。ぜひそのような方にも歯周病検診を受診する機会を作ってほしい。 また歯周病検診の受診率が30%から40%と言われたが、本当は受診したいが何かの理由でできなかったということもある。そういった方が、例えばオンラインで受診日を気軽に変更できるなど工夫をすると、別の日に受診しやすくなると思う。検討いただきたい。
事 務 局	御意見のとおり、申し込んでいただいても受診していない方がいることは残念に思っている。受診までの間に歯科医院に行くことになってとってキャンセルの連絡をいただくことも多くある。オンラインの活用や受診しやすい日程を工夫するなどしていききたい。
H 委 員	初めて会議に参加するが、青壮年期に対して様々な対策が行われていることを初めて知り驚いた。私は歯周病検診を受診している30%から40%に入っているが、残りの方たちがどうして受診しないのかと思った。仕事で行かれない、行こうと思ったときに予約がなくて行かれないというようなハードルを感じるので、職場の理解を得られるよう、市からも働きかけてはどう

か。若い世代も受診しやすくなると思う。

自分の家族で 80 歳を超えている人がいる。一人暮らしで免許を持っていないとなると、歯が痛くなれば、車で連れて行って欲しいと声がかかるが、健診だけとなると・・・。交通手段のない人も定期的に受診できるような環境整備ができないか。例えば、肺がん検診のようにバスが来て健診できるなど。訪問診療などもあると思うので、そういったものを PR してもらおうと受診率も上がるのではないかと。

事務局 御意見のとおり、特に御高齢の方は、交通手段も課題と考えている。すぐに改善できる課題ではないが、今後も検討していきたい。

E 委員 本日の新聞に、介護施設のマンパワーが足りない、深刻化しているという記事があった。介護施設に口腔ケアに行っているが、職員に負担がかかっているように思う。介護状態になって施設入所されている方も、自分の歯があり、しっかり食事ができ、いつまでも元気でいて欲しい。最近はたくさん歯がある方も多く入所されている。以前は総入れ歯の方が多かったが、最近ではインプラントや詰め物などの治療をして歯が残っている方が多いため、職員が口腔ケアをするのも大変だと感じている。

入所されている方の中には、若い時からしっかりケアをし、かかりつけ歯科医を持って定期的に受診をしてきた方もいる。そのような方はいつまでも美味しく食事をし、元気で施設にいらっしゃる。若い時からかかりつけ医を持ち定期歯科健診をし、しっかりケアをしていくという考え方はとても大切だと思うので、やはり若い世代への啓発が重要だと思う。

事務局 実情を反映した御意見をいただいた。今年度、コソコソ貯筋体操会場でオーラルフレイルの啓発をしており、効果的な取組だと感じている。啓発の中にも、良い状態を保った上で施設入所していただくといった内容を取り入れていきたい。

議長 事務局からは委員の御意見を踏まえ、計画を推進していただきたい。以上で議事を終了する。

## (6) 閉会